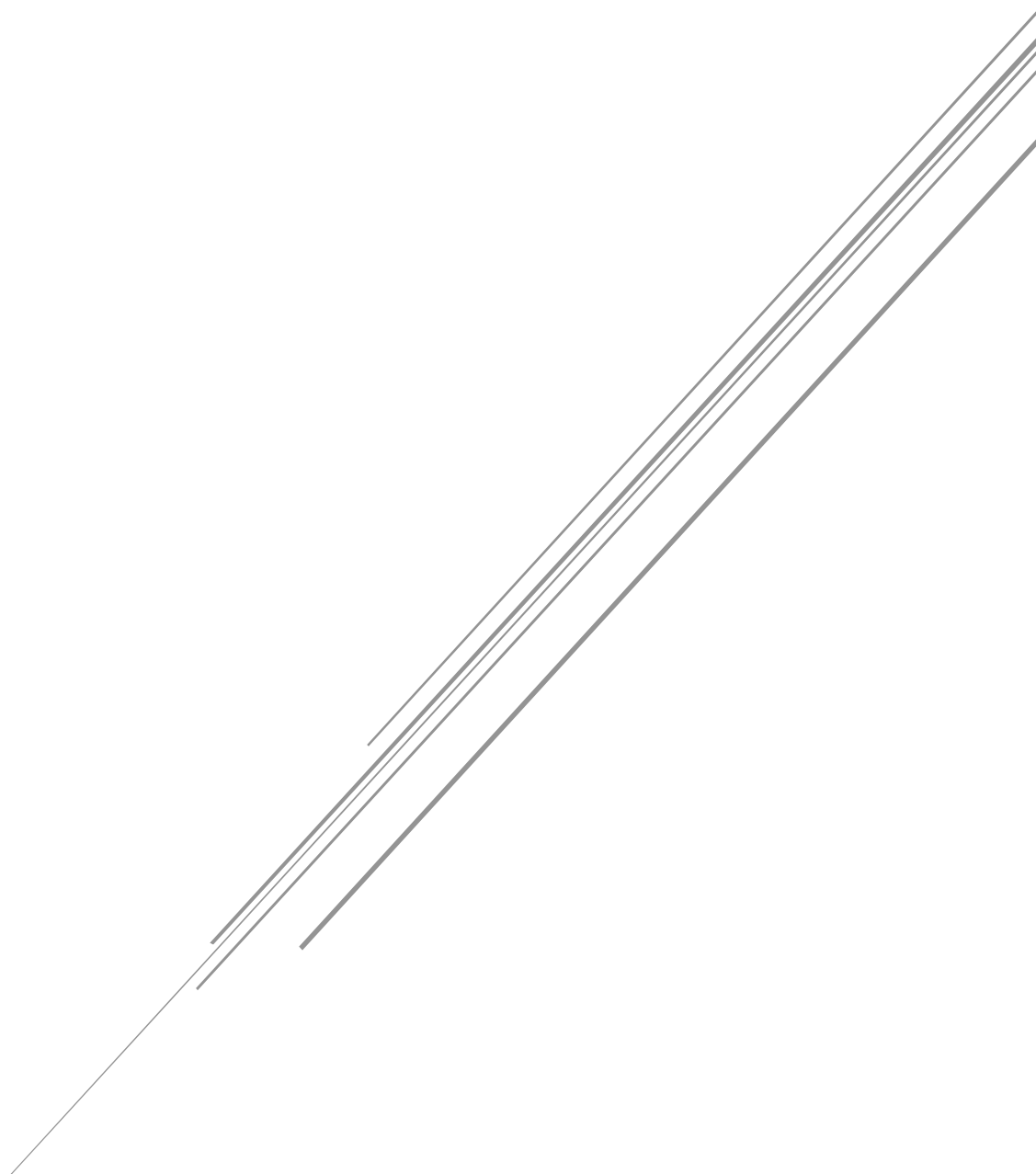


2018年（平成31年度）

千葉県・千葉市教員採用試験

教職教養の問題



問1 次の文は、「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）」（平成28年12月 中央教育審議会）の「第1部 第4章 1.『社会に開かれた教育課程』の実現」に関するものである。文章中の（a）、（b）にあてはまる語句の組合せとして、最も適当なものを選びなさい。

新しい学習指導要領等においては、教育課程を通じて、子供たちが変化の激しい社会を生きるために必要な資質・能力とは何かを明確にし、教科等を学ぶ本質的な意義を大切にしつつ、（a）な視点も持って育成を目指していくこと、（b）を重視しながら学校の特色づくりを図っていくこと、現実の社会との関わりの中で子供たち一人一人の豊かな学びを実現していくことが課題となっている。

- ① a 教科等横断的 b 社会とのつながり
- ② a 主体的・対話的 b 社会とのつながり
- ③ a 主体的・対話的 b キャリア教育
- ④ a 教科等横断的 b 学校段階間の接続
- ⑤ a 基礎的・基本的 b キャリア教育

問2 次の文は、「小学校学習指導要領解説 総則編」の「第3章 第3節 1 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」に関するものである。その内容として、適当でないものを選びなさい。

- ① 「主体的・対話的で深い学び」は、児童に必要な資質・能力を育むための学びの質に着目し、授業改善の取組を活性化していく視点として位置付けられている。
- ② 思考力、判断力、表現力等をバランスよく育むための創意工夫が必要であり、今までの指導法とは全く異なるものを導入しなければならない。
- ③ 「主体的な学び」の実現には、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しを持って取り組んだり、自己の学習活動を振り返って次につなげたりするという視点が示されている。
- ④ 必ずしも1単位時間の授業の中ですべてが実現されるものではなく、単元や題材など内容や時間のまとまりを見通して授業改善を進めることが重要となる。
- ⑤ 高度な社会課題の解決だけを目指したり、そのための討論や対話といった学習活動を行ったりすることのみが主体的・対話的で深い学びではない。

問3 次の文章は、「学級づくりガイドブック」(平成25年3月 千葉県総合教育センター)の「学級づくりの実際 人間関係を育てる」に関するものである。文章中の(a)～(c)にあてはまる語句の組合せとして、最も適当なものを選びなさい。

1 個を育てる

学級の中ではいじめや不登校、学級崩壊など、様々な問題が起きています。それを予防するためには、子どもたち一人一人を育てなければなりません。教師と子どもが(a)で結ばれることと、(b)を育てることが必要です。

2 集団を育てる

子どもたち一人一人に力をつけることと同時進行で、「集団を育てる」ことをしなければ、学級づくりは成功しません。子どもたちは集団の中にいるからこそ、(c)が明確になるし、役割も与えられます。(c)を伸ばし、役割を果たすことで、個人の力は育ちます。集団があるからこそ個人が成長するのです。もし、集団が集団としてのつながりをもたなければ、個は育ちません。

- | | | | |
|---|--------|---------|---------|
| ① | a 信頼関係 | b 自己存在感 | c 特性 |
| ② | a 絆 | b 自己存在感 | c 個性 |
| ③ | a 信頼関係 | b 自己肯定感 | c 個性 |
| ④ | a 絆 | b 自己存在感 | c 資質・能力 |
| ⑤ | a 信頼関係 | b 自己肯定感 | c 資質・能力 |

問4 次の文章は、「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）」（平成28年12月 中央教育審議会）の「第1部 第1章 これまでの学習指導要領等改訂の経緯と子供たちの現状」に関するものである。文章中の（a）、（b）にあてはまる語句の組合せとして、最も適当なものを選びなさい。

子供の健康に関しては、性や薬物等に関する情報の入手が容易になるなど、子供たちを取り巻く環境が大きく変化している。また、食を取り巻く社会環境の変化により、栄養摂取の偏りや朝食欠食といった食習慣の乱れ等に起因する肥満や生活習慣病、食物アレルギー等の健康課題が見られる。さらに、東日本大震災や平成28年（2016年）熊本地震をはじめとする様々な自然災害の発生や、情報化やグローバル化等の社会の変化に伴い、子供を取り巻く（a）に関する環境も変化している。こうした課題を乗り越えるためには、必要な情報を自ら収集し、適切な意思決定や（b）を行うことができる力を子供たち一人一人に育むことが課題となっている。

- ① a 安全 b 行動選択
- ② a 安全 b 自己選択
- ③ a 健康 b 行動選択
- ④ a 生活 b 自己選択
- ⑤ a 生活 b 行動選択

問5 次の文章は、「子供の貧困対策に関する大綱について」（平成26年8月 閣議決定）の「第4 指標の改善に向けた当面の重点施策 1 教育の支援」に関するものである。文章中の（a）～（c）にあてはまる語句の組合せとして、最も適当なものを選びなさい。

（学校教育による学力保障）

（a）や住んでいる地域に左右されず、学校に通う子供の学力が保障されるよう、少人数の（b）や、放課後補習などの取組を行うため、教職員等の指導体制を充実し、きめ細やかな指導を推進する。

その際、学力や学校運営等に課題がある市町村に対し、国が直接改善方策の専門的助言・体制の整備など重点的な支援を行うことを通じ、当該市町村の（c）な改善サイクルを確立する。

- | | | | | | | |
|---|---|------|---|--------|---|-----|
| ① | a | 学校規模 | b | 学級編成 | c | 積極的 |
| ② | a | 学校規模 | b | 習熟度別指導 | c | 自律的 |
| ③ | a | 家庭環境 | b | 能力別指導 | c | 積極的 |
| ④ | a | 家庭環境 | b | 能力別指導 | c | 自律的 |
| ⑤ | a | 家庭環境 | b | 習熟度別指導 | c | 自律的 |

問6 次の文章は、「規律ある明るい学校環境づくり」（平成30年3月改訂 千葉県教育委員会）の「II 暴力行為の防止に向けて 2 暴力行為の防止のポイント」に関するものである。文章中の（a）～（c）にあてはまる語句の組合せとして、最も適当なものを選びなさい。

（2） 多面的・客観的な個別理解

個々の暴力行為の背景には、児童生徒の特性や発達課題から個人を取り巻く家庭・学校・（a）に至るまで様々な要因が考えられる。

したがって、個別事案に対して的確に対応するためには、教職員が（b）に関連した法律の知識や（c）の技法などを学び、児童生徒を多面的・客観的に理解するよう努めながら、指導に当たることが肝要である。

- ① a 友人関係 b 生徒指導 c 教育相談
- ② a 友人関係 b 安全指導 c 面接
- ③ a 社会環境 b 安全指導 c 面接
- ④ a 社会環境 b 生徒指導 c 教育相談
- ⑤ a 社会環境 b 生徒指導 c 心理検査

問7 次の文章は、「これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について（答申）」（平成27年12月 中央教育審議会）の「2. これからの時代の教員に求められる資質能力」に関するものである。その内容として、適当でないものを選びなさい。

- ① 教員が備えるべき資質能力については、使命感や責任感、教育的愛情、教科や教職に関する専門知識、実践的指導力、総合的人間力、コミュニケーション能力の不易の資質能力が引き続き求められる。
- ② これからの教員には、自律的に学ぶ姿勢を持ち、時代の変化や自らのキャリアステージに応じて求められる資質能力を、生涯にわたって高めていくことのできる力も必要とされる。
- ③ 教員には、子供たち一人一人がそれぞれの夢や目標の実現に向けて、自らの人生を切り開くことができるよう、これからの時代に生きる子供たちをどう育成すべきかについての目標を組織として共有し、その育成のために確固たる信念をもって取り組んでいく姿勢が必要である。
- ④ アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善、道徳教育の充実、小学校における外国語教育の早期化・教科化、ICTの活用、発達障害を含む特別な支援を必要とする児童生徒等への対応などの新たな課題に対応できる力量を高めることが必要である。
- ⑤ 「チーム学校」の考えの下、諸課題の解決に向けては、多様な専門性を持つ人材には頼らず、教員が組織的・協働的に解決する力を醸成する必要がある。

問8 次の文章は、「小学校学習指導要領 第1章 総則」の「第3章 第4節 2 特別な配慮を必要とする児童への指導」に関するものである。その内容として、適当でないものを選びなさい。

- ① 障害のある児童などについては、特別支援学校等の助言又は援助を活用しつつ、個々の児童の障害の状態等に応じた指導内容や指導方法の工夫を組織的かつ計画的に行う。
- ② 特別支援学級において実施する特別の教育課程については、障害による学習上又は生活上の困難を克服し自立を図るため、特別支援学校小学部・中学部学習指導要領第7章に示す自立活動を取り入れて編成する。
- ③ 特別支援学級において実施する特別の教育課程については、児童の障害の程度や学級の実態を考慮の上、各教科の目標や内容を下学年の教科の目標や内容に替えるなど、実態に応じて編成する。
- ④ 特別支援学級において実施する特別の教育課程については、児童の障害の程度や学級の実態を考慮の上、各教科を、知的障害者である児童に対する教育を行う特別支援学校の各教科に替えるなど、実態に応じて編成する。
- ⑤ 障害のある児童などについては、家庭、地域及び医療や福祉、保健、労働等の業務を行う関係機関との連携を図り、長期的な視点で児童への教育的支援を行うために、個別の指導計画を作成し活用することに努める。

問9 次の文は、第2期千葉県教育振興基本計画「新 みんなで取り組む『千葉立県ちば』プラン」の施策10「一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進」に示されている5つの重点的な取組である。文中の(a)～(c)にあてはまる語句の組合せとして、最も適当なものを選びなさい。

- | | |
|-----|----------------------|
| (1) | 早期からの (a) と支援体制の充実 |
| (2) | (b) のある多様な学びの場と支援の充実 |
| (3) | 特別支援学校の整備と機能の充実 |
| (4) | (c) の豊かな生活に向けた支援の充実 |
| (5) | 特別支援教育に関する教員の専門性の向上 |

- | | | | |
|---|--------|-------|-------|
| ① | a 診断 | b 発展性 | c 卒業後 |
| ② | a 就学相談 | b 発展性 | c 卒業後 |
| ③ | a 就学相談 | b 継続性 | c 就学後 |
| ④ | a 教育相談 | b 連続性 | c 卒業後 |
| ⑤ | a 教育相談 | b 連続性 | c 就学後 |

問 10 学校における事故の発生を未然に防ぐとともに、学校の管理下で発生した事故に対し、学校及び学校の設置者が適切な対応を図るため「学校事故対応に関する指針」（平成 28 年 3 月 文部科学省）が公表された。「2 事故発生後の取組 2-1 事故発生直後の取組 (1) 応急手当の実施」の応急手当を実施する際の留意点として、最も適切なものを選びなさい。

- ① 被害児童生徒等の生命に関わる緊急時案については、何よりも管理職への報告を優先し指示を仰ぐ。
- ② 救命措置において、意識や呼吸の有無が「分からない」場合は、呼吸と思えた状況が死戦期呼吸である可能性にも留意して、救急車の到着まで安静にして待つ。
- ③ 救急車を手配するために 119 番通報をすると、消防の通信司令員から電話口で指示や指導が受けられるが、心停止かどうかの判断に迷ったり、胸骨圧迫のやり方などが分からない場合は、救急車の到着を待つ。
- ④ 教職員は事故の状況や被害児童生徒等の様子に動揺せず、またその他の児童生徒等の不安を軽減するように対応する。
- ⑤ 応急手当を優先しつつも、事故の発生状況や事故後の対応及びその結果について、適宜メモを残すことを心がけ、児童生徒への対応をしながらメモを整理する。

問 11 次の文章は「平成 30 年度 学校教育指導の指針」（千葉県教育委員会 小学校版・中学校版・特別支援学校版）の「グローバル化に対応した教育」に関するものである。文章中の（a）～（c）にあてはまる語句の組合せとして、最も適当なものを選びなさい。

グローバル化に対応した教育の推進

- ・日本の歴史・伝統文化等の理解を深め、日本人としてのアイデンティティの確立を図るとともに、自己の考えなどを主体的に（a）を育成する。
- ・学校教育活動全体を通して（b）を深める中で、広い視野に立ち、言語、文化等の違いを超えて関係を構築する能力等を養うとともに、他者を（c）し、協働するためのコミュニケーション能力等のグローバル化に対応した資質・能力を育む。

- | | | | | | | |
|---|---|-------|---|-------|---|----|
| ① | a | 表現する力 | b | 相互理解 | c | 尊重 |
| ② | a | 発信する力 | b | 異文化理解 | c | 尊重 |
| ③ | a | 表現する力 | b | 共通理解 | c | 理解 |
| ④ | a | 表現する力 | b | 異文化理解 | c | 理解 |
| ⑤ | a | 発信する力 | b | 相互理解 | c | 理解 |

問 12 次の文は、「学習指導要領の一部改正に伴う小学校、中学校及び特別支援学校小学部・中学部における児童生徒の学習評価及び指導要録の改善等について（通知）」（平成 28 年 7 月 文部科学省）の「1 道徳科の学習評価に関する基本的な考え方について」に関するものである。その内容として、適当でないものを選びなさい。

- ① 児童生徒の人格そのものに働きかけ、道徳性を養うことを目標とする道徳科の評価としては、育むべき資質・能力を観点別に分節し、学習状況を分析的に捉えることは妥当ではない。
- ② 学習活動における児童生徒の具体的な取組状況を、一定のまとまりの中で、児童生徒が学習の見通しをもって振り返る場を適切に設定しつつ見取ることが求められる。
- ③ 児童生徒がいかに成長したかを積極的に受け止めて認め、励ます個人内評価として数値により評価を行う。
- ④ 個々の内容項目ごとではなく、大きくくりなまとまりを踏まえた評価とする。
- ⑤ 学習活動において児童生徒がより多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているかといった点を重視することが求められる。

問 13 次の文章は、「学校人権教育指導資料第 37 集」（平成 29 年 3 月 千葉県教育委員会）に示された人権教育の「全体計画充実のための留意点」に関するものである。文章中の（a）～（c）にあてはまる語句の組合せとして、最も適当なものを選びなさい。

- 重点目標や実践的課題は（a）表現を用いている。
- 児童生徒の（b）に即した学年別目標が設定され、目指す児童生徒の姿が明確にされている。
- 交流活動や（c）など児童生徒が主体的に参加できる取組が組み込まれている。

- ① a 肯定的な b 思いや願い c 体験活動
- ② a 具体的な b 発達段階 c 奉仕活動
- ③ a 肯定的な b 発達段階 c 体験活動
- ④ a 客観的な b 思いや願い c 体験活動
- ⑤ a 具体的な b 思いや願い c 奉仕活動

問 14 次の文章は、「いじめ防止対策推進法」(平成 25 年)の「第 5 章 重大事態への対処」に関するものである。文章中の (a) ~ (c) にあてはまる語句の組合せとして、最も適当なものを選びなさい。

第 28 条 学校の設置者又はその設置する学校は、次に掲げる場合には、その事態（以下「重大事態」という。）に対処し、(中略) 当該重大事態に係る事実関係を明確にするための調査を行うものとする。

1 いじめにより当該学校に在籍する児童等の (a)、心身又は (b) に重大な被害が生じた疑いがあると認めるとき。

2 いじめにより当該学校に在籍する児童等が相当の期間 (c) を余儀なくされている疑いがあると認めるとき。

- ① a 生命 b 財産 c 人権の著しい侵害
- ② a 権利 b 人格 c 学校を欠席すること
- ③ a 発達 b 財産 c 通院すること
- ④ a 権利 b 生活 c 人権の著しい侵害
- ⑤ a 生命 b 財産 c 学校を欠席すること

問 15 次の文章は、「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律」(平成 28 年)に関するものである。文章中の (a) ~ (c) にあてはまる語句の組合せとして、最も適当なものを選びなさい。

第 3 条

3 不登校児童生徒が (a) 教育を十分に受けられるよう、学校に置ける環境の整備が図られるようにすること。

4 義務教育の段階における普通教育に相当する教育を十分に受けていない者の意思を十分に尊重しつつ、その (b) 又は国籍その他の置かれている事情にかかわらず、その (c) 教育を受ける機会が確保されるようにするとともに、その者が、その教育を通じて、社会において自立的に生きる基礎を培い、豊かな人生を送ることができるよう、その教育水準の維持向上が図られるようにすること。

- ① a 必要な b 学力 c 能力に応じた
- ② a 安心して b 学力 c 発達に応じた
- ③ a 安心して b 年齢 c 能力に応じた
- ④ a 必要な b 年齢 c 発達に応じた
- ⑤ a 適切な b 年齢 c 能力に応じた

問 16 次の文章は、「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領の改善及び必要な方策等について（答申）」（平成 28 年 12 月 中央教育審議会）の「第 1 部 第 8 章 3. キャリア教育（進路指導を含む）」に関するものである。文章中の（a）～（c）にあてはまる語句の組合せとして、最も適当なものを選びなさい。

○ キャリア教育については、中央教育審議会が平成 23 年 1 月にまとめた答申「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」を踏まえ、その理念が浸透してきている一方で、例えば、（a）のみをもってキャリア教育を行ったものとしているのではないか、社会への接続を考慮せず、次の学校段階への進学のみを見据えた指導を行っているのではないか、（b）を通じて未来の社会を創り上げていくという視点に乏しく、特定の既存組織のこれまでの在り方を前提に指導が行われているのではないか、といった課題も指摘されている。また、将来の夢を描くことばかりに力点が置かれ、「（c）」の実現や必要な資質・能力の育成につなげていく指導が軽視されていたりするのではないか、といった指摘もある。

- ① a 職場体験活動 b 職業 c 働くこと
- ② a インターンシップ b 職業 c 生活すること
- ③ a 学習活動 b 就労 c 働くこと
- ④ a 職場体験活動 b 就労 c 生活すること
- ⑤ a インターンシップ b 地域 c 働くこと

問 17 次の文章は、適正処遇交互作用（ATI）に関するものである。この考えを提唱したアメリカの教育心理学者として、最も適当なものを選びなさい。

適正処遇交互作用（ATI）とは、学習者の知識や学力などの適性の違いによって、同じ教授法であっても異なった効果を持つことがあることを指摘するものである。学習者の適性に応じた教授法を用いることによって最適な教育効果が得られると主張され、全ての学習者を同じ方法で学ばせる一斉授業に対する警鐘として重要な意義を持つものである。

- ① オズボーン
- ② ソーンダイク
- ③ コールバーグ
- ④ クロンバック
- ⑤ ブルーム

問 18 メタ認知に関する説明として、適当でないものを選びなさい。

- ① メタ認知とは、認知についての認知、すなわち私たちが行う認知活動を対象化してとらえることを意味する概念である。
- ② ある領域のメタ認知は他の領域に簡単に使える（転移する）ことが明らかになっている。
- ③ メタ認知的知識とは、メタ認知の中の知識成分を指す。例えば、「私は英語の聞き取りが苦手だ」「私は人の話を早とちりする傾向がある」といった自分自身の認知特性に関する知識である。
- ④ メタ認知的モニタリングとは、認知状態をモニターすることである。例えば「この問題なら簡単に解けそうだ」といった認知についての予想や「この考え方でいいのか」といった認知の点検などが含まれる。
- ⑤ メタ認知的コントロールとは、認知状態をコントロールすることである。例えば「完璧に理解しよう」といった認知の目標設定や「簡単なところから始めよう」といった認知の計画などが含まれる。

問 19 次の文章は、「小学校（中学校）学習指導要領 第 1 章 総則」の「第 3 章 第 2 節 教育課程の編成」に関するものである。文章中の（a）～（c）にあてはまる語句の組合せとして、最も適当なものを選びなさい。

（1）各学校においては、児童（生徒）の発達の段階を考慮し、言語能力、（a）（（b）を含む。）、問題発見・解決能力等の基盤となる資質・能力を育成していくことができるよう、各教科等の特質を生かし、教科等横断的な視点から教育課程の編成を図るものとする。

- ① a 社会形成力 b 社会貢献
- ② a 自己理解力 b 他者理解力
- ③ a 情報活用能力 b 情報モラル
- ④ a 社会人基礎力 b キャリア教育
- ⑤ a 人間関係形成能力 b コミュニケーション能力

問 20 次の文章は、「千葉県子どもの読書活動推進計画（第三次）」（平成 27 年 3 月 千葉県教育委員会）の「第 5 章 2 読書環境の整備（2）学校等における取組」に関するものである。文章中の（a）、（b）にあてはまる語句の組合せとして、最も適当なものを選びなさい。

小学校・中学校・中等教育学校・高等学校・特別支援学校では

ア 「人のいる学校図書館」の推進

① 本の紹介や、本の選び方や調べ方等、身近に教えてもらえる人が学校図書館にいることは、児童生徒にとって学校図書館が今まで以上に楽しく、心強い場所になります。子どもたちが自らの夢や希望に向かって、進んで学ぼうとすることへのきっかけになり、「(a)」として機能するためにも、学校図書館に司書教諭や (b) がいることが望まれます。

- ① a 心の居場所 b 図書主任
- ② a 学習の場 b 学校司書
- ③ a 心の居場所 b 学校司書
- ④ a 学習の場 b 図書主任
- ⑤ a 心の居場所 b 国語科主任

問 21 次の条文は、「学校給食法 第 3 章 学校給食を活用した食に関する指導」に関するものである。文中の（a）～（c）にあてはまる語句の組合せとして、最も適当なものを選びなさい。

第 10 条 栄養教諭は、児童又は生徒が健全な食生活を自ら営むことができる知識及び態度を養うため、学校給食において摂取する食品と（a）との関連性についての指導、食に関して（b）を必要とする児童又は生徒に対する個別的な指導その他の学校給食を活用した食に関する（c）を行うものとする。

- ① a 栄養素及び熱量 b 特別の配慮 c 地域の実情に応じた指導
- ② a 健康の保持増進 b 特別の配慮 c 衛生管理に関する指導
- ③ a 栄養素及び熱量 b 安全に関する配慮 c 実践的な指導
- ④ a 栄養素及び熱量 b 安全に関する配慮 c 地域の実情に応じた指導
- ⑤ a 健康の保持増進 b 特別の配慮 c 実践的な指導

問 22 次の文章は、「千葉県の健康教育」（平成 28 年 千葉県教育庁教育振興部学校安全保健課）の「学校健康教育の推進 I 学校健康教育の現状と課題 2 学校保健」に関するものである。文章中の（a）、（b）にあてはまる語句の組合せとして、最も適当なものを選びなさい。

（2）保健管理

健康診断はスクリーニングであるという観点に立ち、その結果を健康教育に生かすよう、マルチメディア等も活用しながら、健康に関する新しい情報を的確に把握できる環境の整備が必要である。同時に、プライバシーに配慮しつつ、日々の（a）を適切に実施し、それらの結果をもとに児童生徒一人一人が自ら健康状態を評価・活用できるようにする必要がある。加えて、発育・発達途上にある児童生徒の健康的な環境を保障するため、学校環境衛生基準に基づき適正な学校環境衛生の管理に努めていくことが必要であり、さらに児童生徒に環境衛生への取組から（b）へ関心を高めさせ、地域の実態や発達段階に応じて環境改善への意欲化を図ることも大切である。

- ① a 健康観察 b 環境問題
- ② a 健康管理 b 環境問題
- ③ a 健康管理 b 健康問題
- ④ a 健康観察 b 健康問題
- ⑤ a 健康観察 b 衛生管理

問 23 次の文は、「生徒指導提要 第5章 第3節 教育相談の進め方」（平成22年3月文部科学省）の「2 学級担任・ホームルーム担任が行う教育相談」に関するものである。児童生徒の不応問題に早期に気付くためのポイントとして、適当でないものを選びなさい。

- ① 成績の急低下は「心が勉強から離れてきた」「心が勉強どころではない不安定な状態になっている」ことのサインである。
- ② 「急に反抗期になる」「つき合う友達が変わる」「急に喋らなくなる」「遅刻・早退が多くなる」などの行動の急激な変化は、本人の中で心理的に大きな変化が生じていることに対応するものである。
- ③ 顔色の優れなさ、表情のこわばり、行動の落ち着きのなさ、授業に集中できない、けがの頻発など態度や行動に表れるサインにも注目する。
- ④ 児童生徒の書いた作文、描いた絵などから、その子の気持ちをとらえることは難しいので、それをもとに判断し、対応することは避ける。
- ⑤ 頻尿、頭痛、下痢、原因不明の熱など身体に表れるサインもある。

問 24 次の文章は、法律の条文である。文章中の (a) ~ (c) にあてはまる語句の組合せとして、最も適当なものを選びなさい。

(a) 法 第 11 条

校長及び教員は、教育上必要があると認めるときは、文部科学大臣の定めるところにより、児童、生徒及び学生に懲戒を加えることができる。ただし、体罰を加えることはできない。

地方公務員法 第 30 条

すべて職員は、(b) として公共の利益のために勤務し、且つ、職務の遂行に当つては、全力を挙げてこれに専念しなければならない。

いじめ防止対策推進法 第 22 条

(c) は、当該学校におけるいじめの防止等に関する措置を実効的に行うため、当該学校の複数の教職員、心理、福祉等に関する専門的な知識を有する者その他の関係者により構築されるいじめの防止等の対策のための組織を置くものとする。

- | | | | | | | |
|---|---|------|---|--------|---|----|
| ① | a | 学校教育 | b | 全体の奉仕者 | c | 学校 |
| ② | a | 教育基本 | b | 全体の奉仕者 | c | 校長 |
| ③ | a | 学校教育 | b | 公務員 | c | 学校 |
| ④ | a | 教育基本 | b | 公務員 | c | 学校 |

問 25 「学校における働き方改革に関する総合的な方策について (中間まとめ)」(平成 29 年 12 月 中央教育審議会) に示された、「基本的には学校以外 (地方公共団体、教育委員会、保護者、地域ボランティア等) が担うべき業務」の内容として、適当でないものを選びなさい。

- ① 登下校に関する対応
- ② 放課後から夜間などにおける見回り、児童生徒が補導された時の対応
- ③ 学校徴収金の徴収・管理
- ④ 部活動の指導
- ⑤ 地域ボランティアとの連絡調整

問 26 次の文章は、内閣総理大臣が議長を務め、人づくり革命担当大臣、文部科学大臣、有識者等を構成員として開催された政策会議の中間報告（平成 29 年 12 月）に関するものである。この会議名として、最も適当なものを選びなさい。

これまで、「幼児教育、高等教育の無償化・負担軽減」、「リカレント教育、大学改革」といったテーマについて精力的な討議を行ってきた。本構想会議の審議内容を踏まえて、政府は、本年 12 月 8 日に、「生産性革命」と「人づくり革命」を車の両輪として、少子高齢化という最大の壁に立ち向かうため、「新しい経済政策パッケージ」を閣議決定したところである。

- ① 大人と子供が向き合い休み方改革を進めるための「キッズウィーク」総合推進会議
- ② 人生 100 年時代構想会議
- ③ 人づくり革命会議
- ④ 教育再生実行会議
- ⑤ 総合科学技術・イノベーション会議

問 27 次の慣用表現と意味の組合せのうち、最も適当なものを選びなさい。

- ① 役不足・・・本人の力量に対して役目が重すぎる事
- ② 潮時・・・いい時期を過ぎて引き下がる時期のこと
- ③ 噴飯もの・・・腹立たしくて仕方がないこと
- ④ 煮詰まる・・・意見が出尽くして結論が出る状態になること
- ⑤ やぶさかでない・・・仕方なくすること

問 28 次の四字熟語の（a）～（d）にあてはまる漢字の組合せとして、最も適当なものを選びなさい。

・（a）中模索 ・温故（b）新 ・異（c）同音 ・一触（d）発

- ① a 案 b 知 c 句 d 即
- ② a 暗 b 知 c 口 d 即
- ③ a 案 b 智 c 口 d 則
- ④ a 暗 b 知 c 句 d 即
- ⑤ a 暗 b 智 c 口 d 則

There have been less traffic accidents caused by bicycles in Chiba prefecture recent years, but about sixty percent of the killed and injured were the young people under twenty-four years old and children and the elderly people over sixty-five years old.

Helmets are very effective to make the number of deaths smaller because about sixty percent of the killed in the accidents were caused by the damage on the (ア). It is reported that the percentage of the dead decreases to one quarter by wearing helmets. Turning on a light and putting reflectors on the bicycle is also important. About thirty percent of the accidents occur during from four to eight in the evening. Riders should be very careful when they go into an intersection. About seventy percent of the bicycle accidents occur at or around intersections.

(千葉県教育委員会・千葉県警察 ちばサイクルールから作成)

問 29 文中の (ア) に入る語として、最も適当なものを選びなさい。

- ① head
- ② heart
- ③ eyes
- ④ body
- ⑤ memory

問 30 この英文の内容として、最も適当なものを選びなさい。

- ① 千葉県内の自転車事故発生件数は近年増加傾向にある
- ② 自転車事故による死傷者の約半数は 24 歳以下の若者と子ども、65 歳以上の高齢者である。
- ③ ヘルメットを着用することで自転車事故による死亡率が 4 分の 1 に低減するという報告がある。
- ④ 自転車事故の約 3 割は早朝 4 時から 8 時までの間に発生している。
- ⑤ 自転車事故の約半数が交差点の中、またはその付近で発生している。

【正答】

問題番号	正答
1	1
2	2
3	3
4	1
5	5
6	4
7	5
8	全員加点
9	4
10	4
11	2
12	3
13	3
14	5
15	3
16	1
17	4
18	2
19	全員加点
20	3
21	5
22	1
23	4
24	1
25	4
26	2
27	4
28	2
29	1
30	3